



# 西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2020年  
12月18日  
発行

## 第67回

## 「2021年のびっくり10大予想」

### 初めに

今回は年末恒例のびっくり10大予想です。初めて読む方のために簡単に説明しますが、これはその年に起こりそうな想定外の出来事を予想するもので、元米大手証券モルガンスタンレーのエコノミスト、バイロン・ウィーン氏が始めたものです。ウィーン氏は「サプライズ」を「一般には1/3の生起確率しかないと思われるが、自分にとっては50%以上である事象」と定義していますが、私は「比較的可能性が高いリスクシナリオ」くらいの気持ちで作っています。まず最初に、前回の予想の結果を振り返ってみます。

### 【2020年のびっくり10大予想 振り返り】

予想	振り返り	評価
1 米大統領選では民主党候補が勝利、トランプ落選を好感して株式市場は大幅高。	→ トランプ落選、株価は大幅高。	○
2 グレタ・トゥーンベリ氏がノーベル平和賞を受賞、環境関連株が買われる。	→ ノーベル平和賞逃すも、環境関連株は買われる。	△
3 格差是正に本腰。米国で企業向け、富裕層向け税制見直しの機運高まる。	→ バイデン政権は、富裕層税を表明。	○
4 黒星続きで習近平主席の求心力が低下、中国外交は協調路線に転じ、香港株、台湾株が上昇。	→ 求心力衰えず、対外強硬路線強化。	×
5 FRBが利上げに転換、ECBも緩和縮小、世界的な金融緩和に変化の兆し。	→ 世界的に金融緩和は拡大。	×
6 日銀がETF買付を縮小。日本の株式市場正常化が評価され、株価は上昇。	→ ETF購入は拡大。	×
7 忘れた頃の円安。ドル円は、1ドル115円に。	→ 1ドルは104円に。	×
8 やっぱり自己資本も大事、株式による資金調達が復活。	→ 新型コロナにより、空運株などが自己資本を増強。	○
9 「麟麒がくる」で滋賀ブーム。滋賀県関連株が買われる。	→ 全般に下落。	×
10 カット野菜ブームでマヨネーズ関連株が上昇。	→ 巣ごもり消費で、味の素(2802)、ピエトロ(2818)などが上昇。	○

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。

○は「予想的中」、×は「予想実現せず」、△は「どちらともいえない」です。自己評価では、4勝5敗1分でした。

トランプ氏の落選や、米国における格差是正の動きなど、主要項目は的中したものがありませんでしたが、全体としてはこうした結果です。

ここからは、来年の予想について述べます。

## 【2021年のびっくり10大予想】

1	東京五輪はコロナ対策を徹底した上で実施。 問題なく大会を終えたことが評価され日経平均は30,000円越え。
2	双子の赤字でドル下落、1ドル=95円に。
3	巨大IT企業に政府の圧力強まる。 バイデン米政権はGAFAの分割を決定。中国でもアリババなど IT企業への規制強化の動き強まる
4	21世紀の新市場は宇宙、宇宙関連株が上昇
5	「世界の果てまでワクチンを」 COVAXファシリティが機能して中所得国・低所得国でも 新型コロナは峠を越える。
6	2021年も小型株ブーム、東証マザーズは2年の連続の大幅高。
7	バイデン増税と、 GAFAバッシングで2021年の米企業業績は減益に
8	トランプ退陣で米関税引き上げリスク後退、新興国通貨が上昇
9	常勝軍団に土、福岡ソフトバンクホークス日本シリーズ敗退で 福岡関連株やソフトバンクが売られる。
10	絆が欲しいコロナ禍の芸能界で松坂桃李さん、戸田恵梨香さん に次いで大物カップルが続出。

**1 東京五輪はコロナ対策を徹底した上で実施。****問題なく大会を終えたことが評価され日経平均は30,000円越え。**

ワクチン配布は東京五輪に間に合わないと思いますが、IT機器の活用などにより東京五輪は実現、景気も改善するという予想です。

**2 双子の赤字でドル下落、1ドル=95円に。**

トランプ政権の減税や、バイデン新政権の大型の財政出動により、米国の財政赤字が拡大。ドルの信認が危うくなる可能性があるかとみています。

**3 巨大IT企業に政府の圧力強まる。バイデン米政権はGAFAsの分割を決定。中国でもアリババなどIT企業への規制強化の動き強まる**

米国では政権が交代しても、GAFAsなどに対する規制強化の動きは続きそうです。中国でも大手ネット企業は政府による規制にさらされており、こうした動きは株式市場にはマイナスと見ています。

**4 21世紀の新市場は宇宙、宇宙関連株が上昇**

最近はやぶさ2の帰還が話題になっていますが、今後株式市場でも、宇宙関連が取り上げられる回数が増えそうです。その場合、宇宙旅行のヴァージン・ギャラクティックや、宇宙食としての取扱いが期待されるビヨンドミートなどが挙げられます。

**5 「世界の果てまでワクチンを」****COVAXファシリティが機能して中所得国・低所得国でも新型コロナは峠を越える。**

COVAXファシリティは、政府や企業、団体などが資金を拠出し新興国などにワクチンを届けるというプロジェクトです。このCOVAXファシリティが機能すれば、新興国のコロナ拡大に歯止めをかけることも現実味が増してきます。こうして新興国でもコロナが抑制されれば、こうした国の通貨や株式市場にもプラスとなるでしょう。

**6 2021年も小型株ブーム、東証マザーズは2年の連続の大幅高。**

今年ここまで日本では小型株が大幅上昇。マザーズ指数は30%前後の上昇となっています。業績も改善している模様であり、来年も引き続き小型株に期待できるというびっくり予想です。

**7 バイデン増税と、GAFAsバッシングで2021年の米企業業績は減益に**

バイデン氏は、大企業向けの増税を打ち出しています。また、GAFAsなどへの規制強化も米国の企業業績にはマイナスになることも考えられます。来年の米国の企業業績は前年比減益になる可能性もありとみています。

**8 トランプ退陣で米関税引き上げリスク後退、新興国通貨が上昇**

トランプ政権下においては輸入関税の引き上げが相次ぎ、特に新興国通貨には影響が出ました。しかし、バイデン氏は関税を交渉の道具とすることを否定しています。このような点から、来年の新興国通貨には期待できると考えています。

**9 常勝軍団に土、****福岡ソフトバンクホークス日本シリーズ敗退で福岡関連株やソフトバンクが売られる。**

ソフトバンク敗退の可能性は正直低いと思いますが、来年は五輪があるためソフトバンクの主力はスケジュールが厳しくなると思います。そうしたことを考えると、他球団にもチャンスはありそうです。

**10 絆が欲しいコロナ禍の芸能界で松坂桃李さん、戸田恵梨香さんに次いで大物カップルが続出。**

新型コロナの影響が続いていますが、こうしたなか人と人の絆を考える方も多いと思います。先日、結婚したお二人もそういった気持ちだったのではないのでしょうか。来年はお二人に続いて芸能界に大物カップルが続出し、一般の方の間でも結婚が増えるかとみています。その場合、クラウディアホールディングス(3607)、ワタベウェディング(4696)、IBJ(6071)が注目されそうです。